

朝日の森で生涯学習講座

スズメバチの生態を学び わな作り



6月1日、朝日の森（旧朝日小学校）で生涯学習講座「蜂の巣トラップ大作戦」が開かれ22名が参加しました。参加者は、講師を務めた（有）太田養蜂場の太田一徳さんから、スズメバチの生態や巣を作りやすい場所の説明を受けたあと、ペットボトルを使ったわなを制作しました。成果品の一部は職員が預かり、後日、朝日の森に設置しました。

馬産地ならではの体験

認定こども園の園児が乗馬体験



6月3日、レ・コードパークで、認定こども園ド・レ・ミの年少から年長組を対象としたポニー乗馬体験が開催されました。この乗馬体験は町乗馬連盟の協力によって行われたもので、自分の背丈より大きいポニーに怖がる園児もいましたが、乗馬が終わると園児たちは「ポニーがかわいい」「高くて気持ち良かった」と話していました。

レ・コード館が

27回目の誕生日

6月8日、レ・コード館は開館27年を迎えたことを記念して、1日を通じた開館記念事業を行いました。日中は、見学コースを無料開放したほか、シンガーソングライターの椎名林檎さんが、当館の存在を知って自身のレコードを寄贈していただいたご縁から、この日より椎名林檎さんからの寄贈レコードを特別展示しました。夕方からは、加賀城匡貴さんによるパフォーマンスが町民ホールで開催されました。

加賀城さんは昨年の小学校統合にあたり、アートの体験による学校交流事業の講師を務めた方で、この日のパフォーマンスには、多くの児童と保護者が出演者や裏方として参加しました。



議員在職25年の武田修一議員が

北海道町村議会議長会表彰を受賞



このたび、新冠町議会の武田修一議員は、平成11年5月から25年間にわたり町議会議員として、地域の振興発展および住民福祉の向上に尽力された功績が認められ、北海道町村議会議長会表彰を受賞しました。これを受け、6月21日の第2回定例会開会前に伝達式が行われ、氏家長美議長から武田議員へ表彰状が伝達されました。

道内の国立公園化は37年ぶり

日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生



6月25日、日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生しました。この国立公園は、今までの国立公園であった幌尻岳を含む日高山脈、アポイ岳、広尾町から襟裳岬に続く海岸一帯に、周辺区域が加わり、国内最大の広さとなりました。また、日高振興局と管内7町で国立公園誕生記念巡回パネル展が開催され、町では6月24日から役場玄関ロビーでパネル展示が行われました。

まちの話 題 あれこれ

デイマシオ美術館が

ルネ・ラリック作品を追加

6月より太陽の森デイマシオ美術館では、ルネ・ラリック作品を40点追加しました。ルネ・ラリックは、宝飾作家からガラス芸術家に転身した方で、フランス20世紀初頭に活躍したガラス芸術の巨匠と呼ばれています。今回の作品追加によってコレクションは300点に拡大され、この収蔵品数は北海道随一となっています。追加された作品には、日本ではほとんど一般公開されていないガラス製のベルトも含まれており、デイマシオ作品と合わせてルネ・ラリックの作品を体感することが可能です。



ラムジェット号が

砂のダービー制覇



6月5日、大井競馬場で行われた第70回東京ダービー（ダート2000m）で、新冠町宇美宇の株式会社ノースヒルズで生産されたラムジェット号が優勝しました。東京ダービーは今年からG・JpnIに格付けされ、JRA交流の3歳ダート三冠の2冠目となったレースです。同馬は後続に6馬身の差をつける圧勝劇で3歳ダービーの頂点に輝きました。

日高信用金庫が

図書プラザに児童図書を寄贈



6月11日、日高信用金庫（大沼孝司理事長）より児童向けの図書を寄贈していただきました。図書の寄贈は3年前から継続して行われ、今年で4年目となります。沖田淳也静内支店長は「子どもが楽しんでもらえそうな昆虫や日本の歴史など、大人になっても役立つ図書を寄贈させていただきました。今後も継続して寄贈したい。」と話されました。

新冠小学校と

認定こども園で運動会



6月15日、新冠小学校大運動会が開かれました。今年から全学年50mに距離が変更となった短距離走や玉入れなどの競技が行われ、児童たちは、これまで練習してきた成果を発揮し、各種目に全力で挑みました。全校児童で行われた南中ソーランは、昨年まで「よっちよれ」を踊っていた朝日小学校の児童にとつて初挑戦の踊りとなり、新冠小学校の児童も一部振り付けが変わりましたが、児童たちが南中ソーランを力強く踊りきると、会場は大きな拍手に包まれました。また、29日は認定こども園ド・レ・ミの運動会が町民グラウンドで開催され、かけっこ他、親子での競技や遊戯などが行われました。その他、年長組のプログラムでは、園児たちが考えた競技「みんなのアイデア☆神ってる↑」も行われ、園児たちの一生懸命な姿に、家族から大きな声援が送られました。